

丹波篠山市立篠山東中学校 『学習・生活に関する学力向上プラン』

本校では、毎年、中学1、2年生を対象に実施される丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果をもとに、『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しています。

以下に、今年度の調査結果を分析し、まとめましたので報告いたします。本調査により測定できるものは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、適切に連携を図りながら、一層の指導の工夫改善に努めてまいります。今後も引き続き、本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

〔比較について〕

- ・本校の正答率が全国値に対して+5ポイント以上 【高い】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して差がない 【同程度】と表現
- ・本校の正答率が全国値に対して-5ポイント未満 【低い】と表現

- 国語科では、
基礎問題については全国値と同程度で、活用問題については全国値より高い状況です。基礎学力の定着が図られ良好な状況です。領域別では全領域が全国値と同程度ですが、【我が国の伝統文化に関する事項】【書くこと】の領域においては、全国値より高い状況です。
- 数学科では、
基礎問題については全国値と同程度で、活用問題については全国値より低い状況です。基礎的な知識や技能の定着がみられます。領域別では、【図形】【変化と関係】の領域は全国値と同程度ですが【数と計算】【データの活用】の領域においては、全国値より低い状況です。
- 学習習慣・生活習慣等についての意識調査では、
全項目全国値と同程度でしたが、「ものごとを最後まであきらめずにやりぬく」「先生から期待されている、友達から頼りにされていると感じる」「地域の行事に参加している」「今のクラスが好きだ」「予習や復習をしている」において良好な状況がみられます。一方、「本音で相談できる友達がいる」「けんかの仲直りのために自分から行動する」においては、課題がみられます。

現在の課題および今後の学力向上方策

- 国語科
問題別では、「インタビューの内容を聞き取る」の「意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている」に課題が見られたので、「聞き取りゲーム」等でメモを取る練習に取り組み、日々の学校生活でも習慣化を図ります。また、「漢字を書くこと」については、漢字テスト等の取組を通して基礎的な力の充実に注力します。「文学的な文章を読みとる」について、文章全体を把握しつつ、質問の内容を読みとることを日々の授業で重点的に行っていきます。
- 数学科
【数と計算】では小数や分数を含めた計算問題は正答率が高く、基本的な計算技能は定着しています。一方、文章題の正答率が低く、国語科と連携して、文章全体を把握しつつ、質問の内容を読み取る力を養っていきます。【データの活用】では中央値の求め方やヒストグラムの読み取りなどで正答率が低くなっています。中学校でも取り扱う内容なので、繰り返し学習することで学習内容の定着を図ります。
- 『学習習慣・生活習慣等についての意識調査』
集団の中での自分の役割に責任を持ち、お互いに助け合い励まし合いながら毎日の生活や学習・学校行事に取り組んでいますが、自分の本音を伝え合ったり、お互いに認め合う声かけをしたりすることは難しいようです。良いところを伝え合う機会をつくり、相手の思いを尊重し、常に相手の立場に立って考えるよう促し、より望ましい人間関係を構築していけるように支援していきたいと考えています。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かし、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について指導方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、お子様の家庭学習の様子や生活習慣について、今一度ご確認いただきたく存じます。子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくためには、何より周囲の支えが必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。